

一宮少年自然の家だより すな山

令和5年2月25日発行

60号

五感で感じ 共有する場所
一宮少年自然の家

厳寒の自然の家は、冬の魅力がいっぱい！

船橋市立一宮少年自然の家 所長 浅岡 裕

暦の上では立春を過ぎましたが、一宮はまるで春が訪れる前の試練のような厳しい寒さが続いています。1月27日の深夜に雪が降り、翌朝には多目的広場一面が雪化粧をまといました。また、晴れた日に夜空を見上げると、オリオン座をはじめとする冬の星座がたくさん輝き、まるでプラネタリウムを見ているような感覚になります。そして晴れた朝、屋上から見える一宮海岸を照らすオレンジ色の朝日は絶景そのものです。

施設周辺では水仙の花が見頃を迎え、一足早い春を告げる中、施設でおなじみのカエルや蛇は冬眠の真っ最中です。春の訪れが待ち遠しいところですが、このように冬の時期しか味わうことのできない自然の素晴らしさも自然の家の魅力の一つです。

例年、利用者が減少する時期ですが、週末にはサッカーや野球の青少年団体が来所し、元気に活動しています。今年も皆様に親しみ、喜んでもらえるような施設となるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



自然の家の施設整備に一役！～花壇は花でいっぱい～

千葉県立長生特別支援学校高等部園芸班の皆さんが12月の中旬に来所し、玄関前の花壇の土づくり、そしてパンジー、ビオラ、ノースポールの定植を行いました。作業の段取りを生徒ひとりひとりが理解し、手際よく作業を進め、あっという間に素晴らしい花壇に仕上げてくれました。花壇作りは学校の授業の一環として行っているものですが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、活動が減少していたそうです。久しぶりの校外での活動となったようですが、集中して真剣に取り組んでいる姿は印象的でした。昨年の春には中学部の皆さんも花壇に花を植えてくれました。千葉県立長生特別支援学校の生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも継続的に活動ができるような場の提供をして参ります。



季節を味わえる環境づくり

🎃～ハロウィン～🎃 🎄～クリスマス～🎄

七夕飾りに続き、10月にはハロウィン飾り、12月にはクリスマス飾りをそれぞれロビー中心に行いました。ハロウィンやクリスマスは子供たちにとって楽しみでかつ華やかなイベントです。館内に装飾の彩を加えたことで、明るく和やかな雰囲気となり、来館者には秋冬の季節感を味わってもらうことができました。



【主催講座レポート】

1 ファミリーチャレンジ ～文化編～

令和4年12月17日（土）～18日（日） 3家族12名参加

（1）活動の様子

日本に昔から伝わる「お正月文化」に焦点をあて講座を開催しました。一日目は、一宮で活動している「いこいの森を育む会」の皆さまを講師に迎え、正月飾りに取り組みました。わらの編み方から仕上げの飾りつけまで、丁寧に教えていただきました。夜はメンコやコマ、そしてカルタ大会を行い昔遊びの楽しさを味わいました。

二日目は海岸散歩に始まり、メインである和紙を使つての凧作りに挑戦し、完成後は多目的広場で凧あげを行いました。親子で夢中になって過ごした二日間になりました。

（2）参加者からの感想

- ・家庭ではできないことを、施設で子供たちのためにやってくれるので感謝している。
- ・羽根つきや福笑いなどの正月遊びもやってみたい。



2 ファミリーチャレンジ ～料理編～

令和5年1月28日（土）～29日（日） 4家族9名参加

（1）活動の様子

生活の要である食に視点をあて料理を通じて作る楽しさ、食べる楽しさを味わう講座を開催しました。一日目の最初のメニューとして、日本の生活文化に根強い「竹」を使った箸づくりを行いました。昔の鉛筆削りのようにナイフを使って竹を削り、最後はやすりをかけてマイ箸ができました。夕食の水餃子作りは皮づくりから始め、小麦粉をたくさん捏ねてモチとした食感の水餃子を美味しく食べていました。

二日目の朝食はホットドッグ、そして昼食は今回のメインとなる房総太巻き寿司を、いすみ市の「楽働会」の方を講師に迎え行いました。寿司の模様となる細巻をつくり、その細巻をまとめて巻き、2種類の花模様の太巻き寿司が完成しました。カットした寿司の絵模様に感動している様子が印象的でした。

（2）参加者からの感想

- ・自分で作った箸で食事する体験はとてもよかった。
- ・水餃子は皮からつくことで、普段とは違った食感でした。
- ・太巻き寿司は難しかったけど、先生が丁寧に教えてくれた。家でもやってみたい。



魅力ある施設をめざして ～「来てよかった」「また行ってみたい」と思ってもらえるように～

令和3年4月より施設の管理運営を株式会社オーエンスが引き継ぎ、「地域に根差した施設運営」を掲げ、一宮町、睦沢町、長南町、長柄町、長生村、いすみ市の教育委員会、学校や保育園などの教育現場とのネットワークの構築により、教職員を対象とした指導者研修会や主催事業の開催を通して施設の存在を知ってもらうことができました。

また地元の県立特別支援学校や小中学校、そして野球、バスケットボール、剣道などの青少年団体の利用も少しずつではありますが増えてまいりました。次年度は、主に小学生対象の「自然体験」をテーマとした主催事業の定期的な開催を通じ、「来てよかった」「また行ってみたい」と思ってもらえるような施設運営に努めます。

学校単位の施設見学も行っておりますのでお気軽にご相談ください。引き続き利用者の皆さまに親しみを持っていただけるような、魅力ある施設を目指して参ります。



主催事業「一宮通学合宿」の様子（R5. 2. 12～2. 14）

【お知らせ】～令和5年度の利用予約が始まりました。～

2月1日（水）より、令和5年5月1日から令和6年3月31日までの予約を開始しました。ただし夏季休業期間中の利用につきましては、5月上旬に船橋市内青少年団体を対象とした利用調整会を行い、その後に一般の受付を開始します。利用調整会の日程や一般の受付開始日につきましてはホームページに掲載いたします。

五感で感じ 共有する場所 船橋市立一宮少年自然の家

〒299-4303 千葉県長生郡一宮町東浪見7493-2

☎0475-42-5711 受付時間：9:00～17:00

☎0475-42-5712 □<https://www.funabashi-sizen.jp/>

施設詳細は

こちらから

⇒



ツイッターの
フォローも
お願いします



指定管理者 株式会社オーエンス 本施設は指定管理者制度により、令和3年4月から株式会社オーエンスが管理・運営しています。